

ターゲットごとのニーズを探求した デザイン書の制作

支援機関 公益財団法人えひめ産業振興財団 支援内容 創業支援 支援区分 創業

書Art・美結

事業者 概要

社名／書Art・美結
代表者名／代表 野間 直美
業種／サービス業
所在地／愛媛県松山市
設立／平成30年2月



オリジナル水引をあしらった命名書やウェルカムボード



支援に至る経緯

愛媛信用金庫松山本町支店からの紹介で、公益財団法人えひめ産業振興財団（以下、財団という）のBSO（財団相談窓口）に来所された書Art・美結（みゆう）の野間直美氏（以下、「野間氏」という）は、デザイン書道家として独立されたばかり。前職は企業内で同様の仕事を行っていたものの、独立後の営業や販促をどのように進めていったらよいか不安を抱えておられた。また、創業について気軽に相談できる女性創業経験者が周囲に少なく、孤独も感じておられたようである。そこで、財団の女性創業サロン（以下、「サロン」という）の交流会に参加いただき、他の女性創業者とのネットワークを広げていただきながら、サロンでの創業支援を継続的に受けていただくこととなった。

支援内容

作品を丁寧に仕上げる野間氏。ひとつの作品制作に時間がかかり、完成作品をもって営業に回られた後、客先のレスポンスに併せてさらに内容や体制を改良する…という流れに一定の時間がかかることもあり、野間氏のペースに合わせて支援を行っていった。

- (1) ターゲットの明確化（企業、個人）
- (2) ニーズの深掘り（お祝い・ギフト、個人用途）
- (3) 商品構成の見直し（結婚式用ウェルカムボード、命名書、インテリア書、水引を使用したお祝いの書、季節やイベントごとに関連する書）
- (4) 営業ツールの制作（客先への提案書、プロフィール、プロフィール写真）
- (5) 販促ツールの制作（作品紹介チラシ等の紙媒体、SNSを含めたネット活用）
- (6) 受注の仕組みの構築（ネットショップの開設と充実）
- (7) 作業の効率化（オリジナルで対応するものと、印刷で対応するものの差別化）
- (8) ITスキルの向上（作品印刷や販促ツール内製化に向けた、ソフトウェアや印刷知識の習得）

支援の効果

ここまで約一年に渡る支援の間、各所への営業を試みる中で野間氏自身様々な気づきがあり、ターゲットやニーズに合せた商品（作品）づくりを強く意識するようになられた。

【独立当初】

主力商品は結婚式のウェルカムボードと命名書。結婚式場やギフトショップへの営業で、契約件数を取りたい。

↓

【半年後】

結婚式用ウェルカムボードは挙式カップルが手作り（DIY）する傾向が強くなっているため、祖父母が孫に贈る、知人のお祝い事で贈るといったパーソナルなギフトニーズを満たす商品に力を入れたい。

↓

【1年後】

異業種交流会に積極的に参加すると、「デザイン書を名刺用にしてほしい」「店舗ロゴも作ってほしい」というニーズが非常に多い。これまでは手書きの書をどのようにデータ化し渡せばよいか分からずせっかくの依頼を断ることが多かったが、自身でデータ化するソフトを習得して内製化を進めたい。

ニーズを丁寧に拾っていったことで、「お祝い・ギフト」「名刺・ロゴ」など商品構成も明確になり、企業への販売契約も決まった。現在は印刷物の内製化のためにソフトウェアの習得のほか、ご自身の書スタイルの幅を広げるため勉強も続けておられる。

今後の展開

WEBサイトを制作し商品ラインナップを紹介するとともに、母の日や卒業、入学といったお祝い用の提案を各イベントごとに行っていく。

事業者の声

営業先への提案書の構成や書類作成の際の注意点など、細やかなところまでご指導を頂くことにより、自信をもって営業することができました。デジタルの時代だからこそ手書きの良さをどのように伝えられるのか、またどこに需要があるのか、ターゲットを絞ることの重要さも学ぶことができました。今後は苦手なITスキルの向上も図り、より幅広くビジネス展開をしていきたいと思えます。



代表 野間 直美

支援者の声

「自己アピールが苦手」と当初はおっシャっていましたが、積極的に異業種交流会に参加したり、プレゼンの場で発表するなど、多くの経験を積んで自信をつけてこられた野間氏の表情が、どんどん明るく力強く変化されていったのが印象的でした。

これからもニーズを丁寧に拾いながら、素敵なデザイン書をお客様の元に届けていただきたいと思います。



サブマネージャー
竹森 まりえ